

東京外国語大学 特別公開講座

共催：独立行政法人 国際協力機構 開発研究所 (JICA-IFIC)

「アフリカの平和のために我々は何をすべきか - 大学生へのメッセージ」



講演者:

ジョアキン・シサノ氏

元モザンビーク共和国大統領



日時:

2008年5月29日(木)

13:10~14:40 同時通訳(英・日)付

協力: 本学国際コミュニケーション・通訳コース

会場:

研究講義棟1階 101教室

東京外国語大学 府中キャンパス(府中市朝日町3-11-1)

本公開講座について:

5月28日~30日まで横浜で開催される「第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)」にあわせて開催されるJICA・JBICシンポジウムのために来日される元モザンビーク共和国大統領ジョアキン・シサノ氏をお招きし、公開講座を開催いたします。

モザンビークは、アパルトヘイトや冷戦が引き起こした16年間にわたる武力紛争を経験し、1992年に和平合意が調印されるまでに100万人が命を落としました。かつてはアフリカの「殺戮所」とまで呼ばれたモザンビークですが、その平和再建のプロセスは成功例として国際的に高く評価されてきました。

シサノ元大統領は、モザンビークの紛争を終結に導き、国を復興させて2004年に引退した後も、アフリカ各地の紛争の調停者として活躍し、数々の賞を受賞しています。

今回の公開講座では、シサノ元大統領にアフリカにおける平和構築の経験を語っていただき、アフリカにおける平和構築や国際協力に関心を持つ学生の皆さんにメッセージを伝えていただきます。ふるってご参加ください。

お問い合わせ:

東京外国語大学 国際学術戦略本部 (OFIAS)

URL:<http://www.tufs.ac.jp> (西武多摩川線多磨駅下車徒歩3分)

電話: 042-330-5931 電子メール: ofias-office@tufs.ac.jp

上: 紛争中に焼かれた教会 (1994)

下: 和平合意後、平和への願いが描かれた家 (1997)